

疾病、傷害及び死因分類専門委員会の設置について

1. 委員会について

社会保障審議会統計分科会の下に、専門委員会を設置する。

この委員会は、世界保健機関（WHO）国際分類ファミリー（FIC）協力センター分類改正委員会（URC）から提案された事項を検討するものであり、ICD及び適用分類の領域を専門とする者から構成される。

2. 委員会における検討事項

本委員会では、資料2の14の事項について、専門的な見地から検討を行う。

3. 委員会開催の時期

第1回開催時期：平成16年3月18日

第2回以降の開催時期：検討状況に応じ随時開催

4. その他

委員会の設置は、平成16年末まで

(参考)

用語：ICD-10：疾病及び関連保健問題の国際統計分類 第10回修正

我が国の疾病、傷害及び死因の分類は、1990年にWHOが公表したICD-10に準拠している。

WHO-FIC：世界保健機関分類ファミリー

URC：分類改正委員会

WHO-FIC協力センターの専門委員会で、ICDの項目について検討する。

2003年世界保健機関国際分類ファミリー協力センター分類改正委員会における保留14項目

1 病的な付着胎盤 (Morbidly adherent placenta)

- <現状でのコード> O72. 0 (分娩後出血・第3期出血) または、
O73. 0 (遺残胎盤・出血を伴わないもの)
- <問題点> 上記2つのコードは、分娩時または分娩後の状態を表すカテゴリにあり、
分娩前の場合はこのコードをつけることができない。
臨床的には分娩前でもこの病態が起こり得るとされる。
- <対応案> 分娩前の病態を表すためのコードを新設する。
候補: O43. 2 (O43 は胎盤障害の分類で、分娩前でもコード可能なカテゴリ)

2 遺伝性クロイツフェルト・ヤコブ病 (Hereditary Creutzfeldt-Jacob disease)

- <現状でのコード> A81. 0 (クロイツフェルト・ヤコブ病)
- <問題点> 上記コードは、感染症のカテゴリにあり、
「遺伝性」の場合の同疾患を分類するのには不適切である。
- <対応案> 神経系疾患のカテゴリで、遺伝性を表すためのコードを決定する。
候補: G11. 8 (その他の遺伝性運動失調(症))
G31. 8 (神経系のその他の明示された変性疾患)

3 再発性心筋梗塞 (Subsequent myocardial infarction)

- <現状でのコード> I22. x (再発性心筋梗塞)
- <問題点> 心筋梗塞における、急性(I21. x)と再発性の定義が不明確であること。
さらに、慢性(I25. 8)と陳旧性(I25. 2)の定義も不明確である。

4 アイゼンメンゲル症候群 (Eisenmenger's syndrome)

<現状でのコード> Q21. 8 (心(臓)中隔のその他の先天奇形)

<問題点>

海外の 小児心臓病の専門家からの意見:

①「Eisenmenger's syndrome」は、先天性心疾患に関連する、後天性肺血管疾患である

⇒ コードとしては I27. 8 が妥当、という意見

②他に、「Eisenmenger's defect」、「Eisenmenger's complex」、「Eisenmenger's disease」の用語もあるが、先天性／後天性 の識別の点と、各用語の使用頻度の点で問題がある。

5 細菌性肝炎 (bacterial hepatitis)

<現状でのコード> 起因菌が特定できれば、第1のコードとしてその細菌による感染 (例:A23. x)

第2のコードとして、急性肝炎であれば K72. 0 慢性肝炎であれば K73. X

<問題点>

① K77. 0* (他に分類される感染症および寄生虫症における肝障害) を用いた二重分類で、

いくつかの特殊なウイルス性肝炎や梅毒性肝炎、結核性肝炎をコードすることは可能。

しかし、「肝炎」の索引では、上記以外の細菌によるものについて定義がない。

② 海外からは、起因菌が特定できない場合に対応するコードを新設してはどうか、という意見がある。

候補: K75. 5 (K75 は その他の炎症性肝疾患の分類に該当する)

③ 日本で「細菌性肝炎」の症例数は少ない?

6 新生児の低酸素性虚血性脳症 (Hypoxic ischaemic encephalopathy)

<現状でのコード> P91. 0 (新生児脳虚血)

<問題点>

海外から、「Hypoxic ischaemic encephalopathy」を 新生児脳虚血 と分けて分類したい、

という意見が出ている。

<対応案>

P91 のカテゴリにコードを新設する。

候補: P91. 6 (新生児の低酸素性虚血性脳症)

7 受動喫煙 (Passive smoking)

- <現状でのコード> 現在は、対応するコード無し。
(疾患名ではなく、問題点を表す「Zコード」として付くべき内容に当たる。)
- <問題点> 海外から、呼吸器疾患との重要な要因として、Passive smoking を識別したい、
という意見が出ているが、次の問題がある。
- ① どういう条件の場合に Passive smoking の影響を受けたとするか、明確な定義が必要。
 - ② コードを新設する場合、どのカテゴリが妥当であるか。
例えば、職場での他者の喫煙によるものであれば、Z60 (社会的環境に関連する問題)
親の喫煙によるものであれば、Z63 (家族に関連するその他の問題、家族環境を含む) など、
多方面での可能性が考えられる。

8 くる病による、脊柱後弯症 (Kyphosis due to rickets)

- <現状でのコード> 索引表によれば、E64. 3† M49. 8*
(脊柱後側弯/脊柱側弯 も上記と同じ)
- <問題点> E64. 3 (くる病の続発・後遺症) は後遺症を表すコードであり、
現在の ICD-10 のルールでは第1次コーディングとしては使用しないこととなっている。
ルールに添ってコードするならばM40. 1だけだがこれだけではkyshosis due to ricketsを表せない。

9 性転換症/性同一性障害 (Transsexualism/gender identity disorder)

- <現状でのコード> 性転換症: F64. 0 性同一性障害: F64. x (カテゴリ内のいずれか該当するコード)
- <問題点> 海外から、先天奇形のカテゴリに分類できるようにしたい、という意見が出ている。
例えば、Q04 (脳のその他の先天奇形) とか、Q57 (新設コード・性器の先天奇形のカテゴリ内) など。
先天性疾患として扱うことに問題はないのか?

10 アルコール性膵炎 (Alcoholic pancreatitis)

- <現状でのコード> 急性の場合、K85 (急性膵炎) 慢性の場合、K86. 0 (アルコール性慢性膵炎)
- <問題点> 海外から、急性膵炎についてもアルコール性の分類ができるようにしたい、という意見が出ている。
- <対応案> アルコール性だけでなく、薬剤性、術後といった細分類を K85 のカテゴリ内に作る。

11 先天性心疾患国際専門用語プロジェクト (International Nomenclature for Congenital Heart Disease Project)

北米とカナダが提案したもの。International Paediatric Cardiac Code (IPCC), European Pediatric Cardiac Code (EPCC), Flyer Codes (From Boston)等が候補に上がっている。我が国としての方針は？

12 副反応及び合併症を起こした医療用具 (Medical devices and complications)

<現状でのコード> Y70 - Y82 (治療および診断に用いて副反応を起こした医療用器具) のカテゴリ内 いずれかにコード
(疾患名ではなく、外因を表すコードとして付くべき内容に当たる。)

<問題点> Y83 - Y84 (患者の異常反応または後発合併症を生じた外科的およびその他の医学的処置で、
処置時には事故の記載がないもの) のカテゴリとの分類条件があいまいである、という意見が海外からあった。

13 家族性非溶血性先天性黄疸 (Familial nonhaemolytic congenital jaundice)

<現状でのコード> 索引表によれば、E80. 5 (クリグラール・ナジャー症候群)

<問題点> 海外から、E80. 4 (ジルベール症候群) が正しい、という意見が出ている。
病態としてどういう差異があるのか。上記2つの分類に分ける必要性があるのかどうか？

14 弁膜疾患 (Valvular disorders)

<現状でのコード> 非リウマチ性の場合: I34, I35, I36 のカテゴリ内 いずれかにコード
先天性の場合: Q22, Q23 のカテゴリ内 いずれかにコード
リウマチ性、またはリウマチ性かどうか不明の場合: I05, I06, I07, I08 のカテゴリ内 いずれかにコード

<問題点> 内容例示表の中で、上記各コードの包含・除外文に記載された表現がわかりにくく、
リウマチ性／非リウマチ性／先天性 の分類が正しくなされない可能性が有る、との意見が海外からあった。
日本ではリウマチ性の有無にかかわらずとなっているので日本版は特に問題ではない。

検討項目別担当者（案）

- 1 病的な付着胎盤 (Morbidly adherent placenta)
田中委員、松尾委員
- 2 遺伝性クロイツフェルト・ヤコブ病 (Hereditary Creutzfeldt-Jacob disease)
松尾委員
- 3 再発性心筋梗塞 (Subsequent myocardial infarction)
田中委員、山本委員
- 4 アイゼンメンゲル症候群 (Eisenmenger's syndrome)
松尾委員
- 5 細菌性肝炎 (bacterial hepatitis)
菅野委員、藤原委員
- 6 新生児の低酸素性虚血性脳症 (Hypoxic ischaemic encephalopathy)
松尾委員、山本委員
- 7 受動喫煙 (Passive smoking)
松田委員
- 8 くる病による、脊柱後弯症 (Kyphosis due to rickets)
田中委員、山本委員
- 9) 性転換症／性同一性障害 (Transsexualism/gender identity disorder)
松田委員
- 10 アルコール性膵炎 (Alcoholic pancreatitis)
菅野委員、藤原委員
- 11 先天性心疾患国際専門用語プロジェクト (International Nomenclature for Congenital Heart Disease Project)
大江委員、松尾委員
- 12 副反応及び合併症を起こした医療用具 (Medical devices and complications)
田中委員
- 13 家族性非溶血性先天性黄疸 (Familial nonhaemolytic congenital jaundice)
菅野委員、藤原委員
- 14 弁膜疾患 (Valvular disorders)
松尾委員